

「教育県大分」創造に向けた地域別意見交換会 in 中津 開催概要

【開催日：令和5年11月24日(金)】

【学校訪問】 中津市立南部小学校

【訪問者】 大分県教育委員会（岡本教育長、教育委員、理事、教育次長 他）

中津市教育委員会（古口教育長、教育委員、課長 他）

【中津市南部小学校の概要】

中津城や中津市歴史博物館、小幡記念図書館等、校区の恵まれた教育環境の中で、「言葉によってつながり、自分たちで課題を捉えて解決していく児童の育成～めざせグレイト南部の子～」を学校の教育目標に掲げ、「言語能力・問題解決能力」の育成を目指し、以下の3つの重点目標を設定して取組を行っている。

- (1) 「わかる・できる」を実感できる子の育成
- (2) 協働して課題解決学習に取り組む子の育成
～みんな活躍授業の充実～
- (3) 共によりよく生きようとする子の育成



児童が教え合う姿や取組構築のプロセスは大変参考となった(岡本 県教育長)

【南部小学校の特色ある取組】

(1) 学力向上に向けた取組

学習リーダーを活用した「みんな活躍授業」では、単元計画の中の効果的な場面において児童の学習リーダーが授業を進めるようにしている。あわせて、基礎基本の定着を図る習熟の場面では、AIドリル等も活用しながら組織的に行っている。また、多岐に渡って、地域の方が専門性を活かした、学習サポーターとして参画することで、児童の学力向上に資する取組が充実している。

(2) 主体的な児童の育成

MNYプロジェクト（みんなで なんぶを よくするプロジェクト）では、児童会のテーマ「思いやりを大切にしてみんなが仲の良い学校にしよう」を基に、学期ごとにテーマを設定し活動を行っている。児童の自発的な取組推進に教職員が伴走する形で、学校教育目標の「グレイトとは何か」を児童に問いながら、主体性を育む実践が重ねられている。



実践の継続・積み重ねが児童の姿、学校の伝統につながっている(南部小 八丁校長)

【学校訪問での意見交換内容】

- ・学習リーダーの取組の構築について：低学年では経験を重ねる段階として交代で多くの児童が経験できるようにしている。5・6年生は学期ごとに希望制で係を決めて行っている。これまでの積み重ねが南部小の伝統となり、児童も楽しみにしている。
- ・低学力層への支援の充実について：学習リーダーを活用することで、教師は低学力層への支援を充実させることが可能となる。また、学力差のある児童同士が相互にわかりやすく教え合う必然性を生み出す「ぶらぶらタイム」の活用も効果的である。一方、「知識・技能」の定着には課題が残る。そこで、本校では、単元計画を児童と共有し、習熟を図る場と学習リーダーが活躍する場を明示し、単元計画にメリハリをつけている。
- ・お互いの良さを認め合う場の積み重ねは、児童がポジティブになっていくことにつながる取組である。



「学習リーダー」を中心とした主体的な学び



学び合いを促進する「ぶらぶらタイム」

**【意見交換会テーマ】「芯の通った学校組織」を基盤とした教育水準の向上
～「みんな活躍授業」の拡充から基礎学力定着につながる授業改善の推進について～
【出席者】市関係者(18名)、県関係者(22名)、計(40名)**

【「みんな活躍授業」の充実から基礎学力定着につながる授業改善の推進について】

(1) 「みんな活躍授業」の推進・充実

- ・学び方を学ぶ学習スタイルであり、学習リーダーをはじめ、キーワードやぶらぶらタイム等の活用により、子どもが主体的に学習に取り組み、活躍できる場になっている。
- ・授業の「愛好度や理解度」に対する肯定的な児童・生徒の割合が高く、思考力・判断力・表現力の育成に効果的である。

(2) ICT 活用教育の充実

- ・タブレット端末を協働的な学習の場や個別学習に活用し、実践事例は市の共有フォルダに格納して実践の参考としている。ロイロノートの活用により考えを整理・表現する主体的な学習につながっている。
- ・小規模校や中学校生徒会の学校間交流等の実施や、人材育成を目的とした教職員向けスキルアップミニ研修等をオンラインで行っている。

(3) 外国語教育の充実

- ・全中学校でALTと1対1でスピーキングテストを行うことで、生徒は、実際のコミュニケーションの喜びを実感している。学校外でもAPUと連携して英語教育をサポート。指導者側にも小学校の教員を対象にALTとの英会話教室を実施している。
- ・学びのススメ英検塾(オンラインも実施)での英検資格取得をサポートし、取得率も向上している。



これまでの取組へのご示唆をお願いしたい
(古口 中津市教育長)



「みんな活躍授業」が学びに向かう素地を育てる
(中津市教育委員会 岩久課長)

【意見交換の内容】

(1) 中津市の先進的な教育に対する保護者や地域の方の評価について

- ・APU イングリッシュデイキャンプ等の外国語の活動を楽しみにしているという保護者の声もよく聞き、取組の継続も期待されている。学校でタブレット端末活用についても好意的にとらえてもらっている。「みんな活躍授業」で主体的に学ぶ子どもの姿に安心しているとの声がある一方、基礎学力定着に対する課題の声があるのも事実。

(2) 基礎学力の定着に向けた取組について

- ・「みんな活躍授業」で学びに向かう土台を育て、AIドリル等を活用した個別最適な学習により学習内容の習熟につながる取組を市教育委員会が中心となって推進している。
- ・主体性を育てるためには日常をいかに子どもに任せるかが重要である。学習リーダーの取組もその中の手段の一つ。授業の型を追求するのではなく、「みんな活躍授業」の本質を大事にした取組を進めていきたい。
- ・学力がつけば必ず結果に表れるはず。現状の取組でどこが足りないのかを考えて改善につなげることが大切である。

(3) 児童生徒への支援について

- ・多様な背景を抱える子どもたちが多く中、校内に「第3の居場所」としての別室を確保し、登校支援員等を活用しながら全ての子どもに学びの機会を保障する取組をチームとして組織的に行うことにより、「ここなら来られるかも…」といった学びに向かおうとする子どもへの支援につなげている。
- ・中津市の取組を、県全体にも発信していただきたい。また先生方の日々の実践や努力に感謝するとともに、保護者とも共有することを進め、先生方も笑顔で業務推進できることを期待している。



県としてもできることを一つひとつ積み重ねていきたい(岡本 県教育長)